

## 2026年度 JCRRA 基本方針案

### 1. 2026年3月末をめどに各小委員会発足をめざす

(小委員会参加希望アンケート実施中)

- ・第1小委員会 (科学理論)

ICRPの実効線量体系批判と新しい体系の構築(内部被曝、活性酸素、核DNA以外への影響を含む)

- ・第2小委員会 (歴史)

核兵器・原子力開発と国際原子力ロビー形成の歴史(トリニティ実験からJCO臨界事故まで)

- ・第3小委員会 (人権)

被曝しない自由・被曝下の人権

- ・第4小委員会 (福島原発事故被害評価)

東電福島第一原発事故がもたらした被害評価

- ・第5小委員会 (科学と人権のための闘争課題)

日本政府の科学無視・人権無視・法治主義の放棄との闘い

- ・主委員会(勧告の仕上げ)

第1～第5小委員会の統合を目的とします。最終的な「勧告」に責任を持ちます。各小委員会が一定のまとめ(中間まとめ含む)が出された段階で主委員会を適宜開いて報告・議論します。全会員に出席を呼びかけますが、各小委員会の委員長(副委員長)は基本的に参加していただくものとします。

2. 上記委員会の活動を通じ、権力にも運動にも忖度しない「科学と人権に基づく被曝評価体系」を確立し、世界市民の命を守り、強制被曝から人類を解放し人権回復をもたらすことのできる放射線防護体系を確立します。放射線被曝の健康影響の過小評価を批判する活動や、住民・市民の「被曝しない権利」を擁護する活動に連帯いたします。

### 3. 定期的な JCRRA 講演・学習会の実施(オンラインのみで実施)

- ・すでに第1回(2025年11月、林敬次氏)、第2回(2026年1月、飛田晋秀氏)実施済み

- ・第3回講演学習会学習会については遠藤順子氏を講師に**3月26日(木)**実施予定

### 4. 適宜、JCRRAの趣旨に沿う企画の実施

- ・6月7日(日)にコリン・コバヤシ氏(パリ在住)来日に合わせ、「国際原子力ロビーがいかに戦略的に、放射能の健康被害を隠蔽してきたか」という点を中心テーマとする講演会(対面講演)を神戸大学にて計画中です。

### 5. 年1回の総会開催 (2027年4月～5月に第2回総会の開催を予定)